



【Release】

2017年12月14日
公益社団法人日本アドバイザーズ協会

第56回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール 消費者が選んだ、今年いちばん『心に響いた』広告が決定！！

112名の一般消費者審査員が選出した評価ポイントは
『人と人、親と子の絆』『社会的課題』

公益社団法人日本アドバイザーズ協会(理事長:伊藤 雅俊 味の素株式会社 代表取締役取締役会長)は、第56回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクールの入賞作品を発表しました。

最高賞であるJAA賞グランプリは、パナソニック、木楽舎、大塚製薬、味の素、サントリーホールディングス、NTTドコモの各社が、また、経済産業大臣賞はキャノンマーケティングジャパンが受賞した他、全70作品が入賞しました。

賞	部門	受賞社名	タイトル
JAA賞 グランプリ	新聞	パナソニック株式会社	無電化地域に折り重なる問題へ、太陽の力を
	雑誌	株式会社木楽舎	ブサイク野菜の美しい季節料理
	テレビ	大塚製薬株式会社	「夢の背中」篇
	ラジオ	味の素株式会社	『あたしん家のお母さん(母の日限定CM)』篇
	デジタル	サントリーホールディングス株式会社	働くって、いいもんだ。THE LAST TRAIN
	屋外・交通	株式会社NTTドコモ	スマホ専用トイレトペーパー
経済産業大臣賞	テレビ	キャノンマーケティングジャパン株式会社	「写真っていいね」篇 Aタイプ篇

この件に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 JAA広告賞事務局
東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座三丁目ビル 8階
☎ 03-3544-6580 FAX 03-3544-6581 〒104-0061
e-mail: contest@jaa.or.jp

JAA賞グランプリ受賞作品



新聞広告部門 パナソニック株式会社 無電化地域に折り重なる問題へ、太陽の力を

■ビジュアルもコピーも折りたたむことで変化するので、二重に楽しめる。新聞の大きさを活かした素晴らしいアイデア。写真と言葉のマジック。
(選考委員:女性)



雑誌広告部門 株式会社木楽舎 ブサイク野菜の美しい季節料理

■「廃棄野菜を食卓へ」のメッセージがビジュアルを通じてシンプルに伝わってくる。色使いもきれいで、芸術なのにしかも食べられるなんて凄い。
(選考委員:男性)



テレビ広告部門 大塚製薬株式会社 「夢の背中」篇

■映画のようなストーリー性とメッセージ性があり、頑張る人と支える人の双方からの視線がうまく表現されている。何回見ても涙がでる。
(選考委員:男性)

お母さんのマネをする女の子たち：
「ご飯すんだら、ちゃんと宿題するのよ」
「クチャクチャ食べないの！」

ラジオ広告部門 味の素株式会社 『あかしん家のお母さん(母の日限定CM)』篇

■子どもたちの言葉がほほえましくもあり心があたたまると感じる。子どもは親のことをよく見ているもので、自分も先日、同じことを子どもに言われたばかり。
(選考委員:女性)



デジタル広告部門 サントリーホールディングス株式会社 働くって、いいもんだ。THE LAST TRAIN

■重く捉えられる定年を明るく取り上げていて心に残った。「働くって、いいもんだ」のメッセージを見て、今日も仕事を頑張ろうと会社に向かった。
(選考委員:男性)



屋外・交通広告部門 株式会社NTTドコモ スマホ専用トイレトーパー

■世界一清潔な国・日本というイメージを活かしている。空港だけでなく、駅やアミューズメント施設にもほしいな。
(選考委員:女性)

経済産業大臣賞受賞作品



テレビ広告部門 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 「写真っていいね」篇 Aタイプ篇

■写真が親と子の人生を振り返るひとつのアイテムになっていることがフューチャーされていて、写真の大切さが伝わる素晴らしいCM。直視できないほど感動した。頭から離れない。

(選考委員:男性)

■芳賀康浩審査委員長のコメント

絆、とりわけ家族・親子の絆をテーマにした広告が多くみられ、また高く評価された。それはここ数年来の傾向だが、飽きもせず多くの人を繰り返し感動させることができるのは、クリエイティブの水準の高さと、消費者の家族を思う気持ちの強さゆえでしょう。

■入賞作品について

協会ホームページ <http://www.jaa.or.jp> にて公表しています。

■JAA広告賞とは

審査員に広告の関係者を含まず、広告の受け手である消費者が生活者の視点から審査を行う世界でも類を見ない大きな特徴を持つ総合広告賞です。

今年度は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、デジタル、屋外・交通の6部門合わせて1337点の応募がありました。「好感、共感、親近感が持てる広告であるか」、「わかりやすく、納得できる広告であるか」、「オリジナリティが感じられる広告であるか」という審査基準のもと、112名の消費者審査員が約1ヶ月間に渡り選考に携わりました。

■公益社団法人 日本アドバイザーズ協会について

日本の有力なアドバイザー企業・団体自らが共同して、広告活動の健全な発展のために貢献することを目的として活動する公益社団法人です。マーケティング・コミュニケーションにデジタルを活用すべく研究・情報収集を行っているWeb広告研究会を有し、「人材育成事業」「調査研究事業」「表彰事業」「啓発普及事業」「相談助言事業」「他団体への支援連携事業」「広報事業」の7つの事業を基に、会員が協同して活動をしています。

正会員社288社 賛助会員社(Web広告研究会)415社(2017年11月30日現在)